



2019年10月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年12月13日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社
 コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村田 裕紀

TEL 050-3539-1122

定時株主総会開催予定日 2020年1月28日

配当支払開始予定日

2020年1月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年1月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期の連結業績(2018年11月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期	20,189	0.9	1,931	6.6	1,955	6.6	1,350	1.1
2018年10月期	20,009	10.1	2,067	13.5	2,094	14.8	1,365	3.5

(注) 包括利益 2019年10月期 1,356百万円 (1.8%) 2018年10月期 1,333百万円 (1.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年10月期	45.48		11.0	9.3	9.6
2018年10月期	46.28		12.2	10.4	10.3

(参考) 持分法投資損益 2019年10月期 百万円 2018年10月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期	21,539	12,916	59.8	432.41
2018年10月期	20,604	11,790	57.1	398.40

(参考) 自己資本 2019年10月期 12,879百万円 2018年10月期 11,757百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年10月期	2,049	2,094	90	5,067
2018年10月期	3,624	1,185	1,278	5,200

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年10月期		0.00		12.00	12.00	359	25.9	3.1
2019年10月期		0.00		12.00	12.00	359	26.4	2.9
2020年10月期(予想)		0.00		12.00	12.00		24.9	

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,260	2.5	260	37.8	270	37.1	180	36.0	6.03
通期	21,680	7.4	2,200	13.9	2,220	13.5	1,430	5.9	48.20

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 社 (社名) - 、 除外 1 社 (社名) アイ・セレモニー株式会社

(注)詳細は、添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(当連結会計年度における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期	29,956,800 株	2018年10月期	29,956,800 株
期末自己株式数	2019年10月期	172,044 株	2018年10月期	363,444 株
期中平均株式数	2019年10月期	29,693,101 株	2018年10月期	29,506,128 株

(注)自己株式については、当連結会計年度末にアイ・ケイ・ケイ従業員持株会専用信託が所有する170,300株を含めて記載しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	13
役員の異動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2018年11月1日から2019年10月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、企業収益は高い水準を維持して参りました。しかしながら、米中間の通商問題の長期化や英国のEU離脱交渉の展開、また日本を取り巻く東アジア情勢等、日本に与える影響は少しずつ顕在化してきており、依然として将来に対する不確実性は高いままとなっております。

ウェディング業界におきましては、2018年の婚姻件数が59万組（厚生労働省「2018年 人口動態統計の年間推計」）と前年と比べ1万7千組減少しており、結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかに減少傾向にあるものの、ゲストハウス・ウェディング市場は概ね底堅く推移しております。

このような状況のもと、他社と差別化を図ることが難しくなるなかで、当社グループは「お客さまの幸せと感動のために」という経営理念に基づき、パーソナルなウェディングやサービスを提供すべく、スタッフの人間力・接客力向上を目的とした社内外の研修、独自の営業支援システムを活用した情報分析や集客力向上のための各施策に積極的に取り組んでまいりました。

また、ウェディング市場でのシェア拡大に向けて、多様化するお客さまのニーズ・期待に即応できる態勢とお客さまがお客さまをご紹介くださる好循環サイクルの紹介制度を活用し、売上高の拡大と収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は20,189百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1,931百万円（同6.6%減）、経常利益は1,955百万円（同6.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,350百万円（同1.1%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

前連結会計年度（2017年12月）にオープンした「キャッスルガーデンOSAKA」（大阪支店）の通期稼働、当連結会計年度（2019年7月）にオープンした「ララチャンスKOB E」（神戸支店）の稼働及び前連結会計年度（2017年11月）より連結の範囲に含めたPT INTERNATIONAL KANSHA KANDOU INDONESIAの婚礼組数が増加したものの、既存店の施行組数の減少もあり、売上高は19,393百万円（前年同期比0.9%増）、人件費の増加及び「ララチャンスKOB E」（神戸支店）の開業費用の発生等により営業利益は1,893百万円（同6.5%減）となりました。

② 葬儀事業

売上高は287百万円（前年同期比3.2%減）、営業損失は3百万円（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

なお、葬儀事業を運営していたアイ・セレモニー株式会社は2019年10月1日付で当社が保有する株式の一部を譲渡しております。

③ 介護事業

売上高は515百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は39百万円（同16.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し6,014百万円となりました。これは主に、現金及び預金が131百万円減少し、原材料及び貯蔵品が47百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,004百万円増加し15,525百万円となりました。これは主に、「ララチャンスガーデン東京ベイ」（東京支店）の契約に伴い差入保証金が820百万円増加したことによるものであります。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し4,394百万円となりました。これは主に、未払法人税等が238百万円、流動負債その他が258百万円それぞれ減少し、前受金が232百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し4,228百万円となりました。これは主に、資産除去債務が124百万円増加し、役員退職慰勞引当金が29百万円及びポイント引当金が73百万円それぞれ減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,126百万円増加し12,916百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益1,350百万円の計上による増加と自己株式の売却による130百万円増加と剰余金の配当359百万円による減少であります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント上昇し59.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ132百万円（前年同期比2.5%減）減少し5,067百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、2,049百万円（前年同期比43.4%減）となりました。主な収入要因は、税金等調整前当期純利益2,013百万円及び減価償却費1,129百万円であり、主な支出要因は、法人税等の支払額940百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2,094百万円（前年同期比76.7%増）となりました。これは主に、神戸支店オープン等に伴う有形固定資産の取得による支出1,244百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、90百万円（前年同期比92.9%減）となりました。主な収入要因は、神戸支店及び東京支店のオープン等のための長期借入れによる収入1,200百万円及び自己株式の売却による収入137百万円であり、主な支出要因は、長期借入金の返済による支出1,068百万円及び配当金の支払額359百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年10月期	2016年10月期	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期
自己資本比率 (%)	49.2	54.2	54.1	57.1	59.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	87.8	95.7	130.2	103.0	97.6
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	1.9	1.4	4.0	1.0	1.8
インタレスト・カバレッジ・ レシオ (倍)	73.3	92.0	51.7	168.2	110.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、当連結会計年度（2019年7月）にオープンした神戸支店が通期稼働することや2020年6月以降に東京支店がオープンすることにより売上高は21,680百万円（当連結会計年度比7.4%増）、営業利益は2,200百万円（同13.9%増）、経常利益は2,220百万円（同13.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,430百万円（同5.9%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、経営成績に応じた配当を実施していく方針であります。

当期の配当につきましては、1株当たり12円、次期の配当につきましても、上記方針に則り1株当たり12円とさせていただきます。予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当連結会計年度 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,277,196	5,145,870
売掛金	314,374	303,837
商品	145,360	168,047
原材料及び貯蔵品	72,883	120,551
その他	276,182	279,154
貸倒引当金	△2,583	△2,899
流動資産合計	6,083,413	6,014,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,824,743	18,646,085
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,461,457	△8,955,371
建物及び構築物(純額)	9,363,285	9,690,714
機械装置及び運搬具	572,124	553,461
減価償却累計額	△489,701	△481,783
機械装置及び運搬具(純額)	82,423	71,678
土地	1,973,734	1,973,734
建設仮勘定	231,120	800
その他	2,359,647	2,498,320
減価償却累計額	△1,990,561	△2,140,786
その他(純額)	369,085	357,533
有形固定資産合計	12,019,649	12,094,460
無形固定資産	79,723	157,602
投資その他の資産		
繰延税金資産	822,413	864,850
差入保証金	1,014,705	1,834,813
その他	600,696	591,927
貸倒引当金	△16,470	△18,507
投資その他の資産合計	2,421,345	3,273,083
固定資産合計	14,520,719	15,525,146
資産合計	20,604,132	21,539,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当連結会計年度 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	911,098	936,604
1年内返済予定の長期借入金	1,025,656	1,072,671
前受金	851,532	1,083,687
未払法人税等	570,913	332,252
賞与引当金	267,790	275,990
その他	952,059	693,380
流動負債合計	4,579,048	4,394,587
固定負債		
長期借入金	2,718,812	2,703,109
退職給付に係る負債	45,626	39,224
役員退職慰労引当金	329,374	300,022
ポイント引当金	89,707	16,118
資産除去債務	799,851	924,789
その他	251,700	244,908
固定負債合計	4,235,072	4,228,171
負債合計	8,814,121	8,622,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	355,311	355,311
利益剰余金	11,299,303	12,289,849
自己株式	△246,885	△116,350
株主資本合計	11,759,385	12,880,466
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	29,610	26,011
為替換算調整勘定	△31,080	△27,329
その他の包括利益累計額合計	△1,469	△1,317
非支配株主持分	32,095	37,800
純資産合計	11,790,011	12,916,950
負債純資産合計	20,604,132	21,539,709

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
売上高	20,009,080	20,189,547
売上原価	9,021,124	8,977,556
売上総利益	10,987,956	11,211,990
販売費及び一般管理費	8,920,054	9,280,425
営業利益	2,067,902	1,931,565
営業外収益		
受取利息	15,631	20,045
受取保証料	14,218	14,218
受取手数料	8,483	7,330
その他	15,630	7,231
営業外収益合計	53,962	48,825
営業外費用		
支払利息	21,938	18,881
その他	4,984	5,704
営業外費用合計	26,922	24,586
経常利益	2,094,941	1,955,804
特別利益		
補助金収入	135,500	—
関係会社株式売却益	—	69,117
特別利益合計	135,500	69,117
特別損失		
固定資産除却損	16,518	11,672
減損損失	127,342	—
特別損失合計	143,860	11,672
税金等調整前当期純利益	2,086,581	2,013,249
法人税、住民税及び事業税	780,013	714,154
法人税等調整額	△56,922	△56,686
法人税等合計	723,091	657,468
当期純利益	1,363,489	1,355,781
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△1,956	5,286
親会社株主に帰属する当期純利益	1,365,446	1,350,494

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
当期純利益	1,363,489	1,355,781
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3,950	△3,597
為替換算調整勘定	△26,533	4,168
その他の包括利益合計	△30,484	570
包括利益	1,333,004	1,356,352
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,337,614	1,350,646
非支配株主に係る包括利益	△4,609	5,705

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,655	355,311	10,336,473	△368,963	10,674,477
当期変動額					
剰余金の配当			△359,460		△359,460
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,365,446		1,365,446
自己株式の処分				122,078	122,078
連結範囲の変動			△43,154		△43,154
連結範囲の変動に伴う為 替換算調整勘定の増減					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	962,830	122,078	1,084,908
当期末残高	351,655	355,311	11,299,303	△246,885	11,759,385

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る調 整累計額	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	33,562	—	33,562	—	10,708,039
当期変動額					
剰余金の配当					△359,460
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,365,446
自己株式の処分					122,078
連結範囲の変動				37,505	△5,649
連結範囲の変動に伴う為 替換算調整勘定の増減		△7,200	△7,200	△800	△8,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,951	△23,880	△27,832	△4,609	△32,441
当期変動額合計	△3,951	△31,080	△35,032	32,095	1,081,972
当期末残高	29,610	△31,080	△1,469	32,095	11,790,011

当連結会計年度(自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,655	355,311	11,299,303	△246,885	11,759,385
当期変動額					
剰余金の配当			△359,460		△359,460
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,350,494		1,350,494
自己株式の処分				130,534	130,534
連結範囲の変動			△487		△487
連結範囲の変動に伴う為 替換算調整勘定の増減					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	990,545	130,534	1,121,080
当期末残高	351,655	355,311	12,289,849	△116,350	12,880,466

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る調 整累計額	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	29,610	△31,080	△1,469	32,095	11,790,011
当期変動額					
剰余金の配当					△359,460
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,350,494
自己株式の処分					130,534
連結範囲の変動					△487
連結範囲の変動に伴う為 替換算調整勘定の増減			—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3,598	3,751	152	5,705	5,857
当期変動額合計	△3,598	3,751	152	5,705	1,126,938
当期末残高	26,011	△27,329	△1,317	37,800	12,916,950

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,086,581	2,013,249
減価償却費	1,179,010	1,129,640
減損損失	127,342	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,681	4,614
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,426	12,079
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,714	△9,645
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21,819	△12,026
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,154	836
補助金収入	△135,500	—
固定資産除却損	16,518	11,672
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△69,117
受取利息及び受取配当金	△15,631	△20,045
支払利息	21,938	18,881
売上債権の増減額(△は増加)	137,786	6,315
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,963	△74,026
仕入債務の増減額(△は減少)	26,799	43,513
未払金の増減額(△は減少)	△47,018	24,808
その他	453,014	△85,703
小計	3,881,245	2,995,046
利息及び配当金の受取額	11,109	14,074
利息の支払額	△21,549	△18,641
補助金の受取額	135,500	—
法人税等の還付額	25,378	48
法人税等の支払額	△407,055	△940,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,624,627	2,049,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△46,200	—
有形固定資産の取得による支出	△926,523	△1,244,509
無形固定資産の取得による支出	△25,643	△93,082
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	82,031
その他	△187,001	△839,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,185,368	△2,094,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,060,196	△1,068,688
自己株式の売却による収入	142,276	137,620
配当金の支払額	△359,386	△359,305
その他	△881	△528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,278,186	△90,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,993	3,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,137,079	△132,326
現金及び現金同等物の期首残高	3,731,207	5,200,196
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	331,910	—
現金及び現金同等物の期末残高	5,200,196	5,067,870

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、連結子会社アイ・セレモニー株式会社は、2019年10月1日付で当社が保有する株式の一部を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しています。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が133百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が126百万円増加しています。また「固定負債」の「繰延税金負債」が6百万円減少しています。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が6百万円減少しています。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前連結会計年度(自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業、葬儀事業及び介護事業であります。葬儀事業及び介護事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業、葬儀事業及び介護事業であります。葬儀事業及び介護事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、葬儀事業を運営していたアイ・セレモニー株式会社は2019年10月1日付で当社が保有する株式の一部を譲渡したため、当社グループの報告セグメントは、2020年10月期から婚礼事業及び介護事業となります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)		当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)	
1株当たり純資産額	398円40銭	1株当たり純資産額	432円41銭
1株当たり当期純利益金額	46円28銭	1株当たり当期純利益金額	45円48銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年11月1日 至 2018年10月31日)	当連結会計年度 (自 2018年11月1日 至 2019年10月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,365,446	1,350,494
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,365,446	1,350,494
普通株式の期中平均株式数(株)	29,506,128	29,693,101

3. アイ・ケイ・ケイ従業員持株会専用信託が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。(前連結会計年度末361,700株、当連結会計年度末170,300株)
また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前連結会計年度448,928株、当連結会計年度261,955株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

役員の変動につきましては、本日公表しております「代表取締役の変動及び監査等委員会設置会社移行後の役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。